

千葉県のフリーター (2001年6月～2003年7月)

星 真 実

はじめに

本調査報告は、「平成14年度敬愛大学経済文化研究所『研究課題』研究助成金制度」に基づく研究費478,000円を活動資金とする実態調査研究の成果報告第2報である。既発表の第1報¹⁾では、アンケート調査に基づきフリーターの労働・生活条件に関する実態を数値的に捉えたが、今回は2001<平成13>年6月から2003<平成15>年7月に亘り、千葉県内在住のフリーターを対象に実施したゼミ生による聞き取り調査²⁾に基づき報告したい。

調査票回収数は99部、有効回答は93人。内訳は、男性43人、女性50人。自称現役フリーターを調査対象としたが、現在正社員、派遣・契約社員、既婚女性、専門学校生または無職でも、過去にフリーター歴がある者は参考とした。なお、報告中の割合(%)は小数点以下第三位四捨五入とした。

1. 調査対象者の内訳

1-1.現役フリーター (No.01～71)

離学・離職後、フリーターという働き方を選択した者、あるいは選択せざるを得なかった者。男性31人、女性40人が該当。

- a) 卒業→フリーター (No.01～45)：男性17人、女性28人が該当。自分がやりたいことは何か、を探すために卒業後フリーターになったとい

う確信犯的事例も多いが、志望進路に順調に進めず、フリーターにならざるを得なかったという事例も多い。進学志望では、経済的理由・成績不振・大学受験失敗で進学を断念すると同時に、進学以外考えておらず就職活動をしていなかったなど。就職志望では、就職活動はしたが希望企業から内定が出なかった、または全社不採用など。

- b) 中退→フリーター (No.46～57)：男性8人、女性4人が該当。高校中退4人、専門学校中退4人、大学中退4人。中退後すぐにアルバイトで入職、あるいは学生時代のアルバイトを継続し、暫くして次のアルバイトへという経緯が一般的。高校中退で特に、「卒業しておけば良かった」と悔やむ意見が多い (No.46、48、50)。専門学校中退理由は、学校と自分の方針の相違 (No.53)、やりがいを失った (No.56) など。大学中退理由は、単位不足 (No.52、57)、経済的理由 (No.49) など。
- c) 正社員→フリーター (No.58～71)：男性6人、女性8人が該当。学歴を問わず、正社員経験のある者はここに分類した。卒業後正社員として働いたが、何らかの事由で退職し、その後アルバイトという経緯が一般的。退職理由は、人間関係 (セクハラを含む)、ノルマとそれに伴うストレス、労働条件が大勢を占める。

1-2. 非フリーター (No.72～87)

過去にフリーター経験はあるが、現在は就業形態上あるいは身分としてフリーターに該当しない者。男性8人、女性8人が該当。

- a) 正社員 (No.72～79)：男性4人、女性4人が該当。
- b) 契約・派遣社員 (No.80～83)：男性2人、女性2人が該当。
- c) 既婚女性 (No.84～85)：女性2人が該当。
- d) 専門学校生 (No.86～87)：男性2人が該当。今回の調査では女性の該当者はいなかった。

1-3. 無職 (No.88～93)

現在、何らかの職に就いていない者。男性4人、女性2人が該当。同じ「無職」であっても、正規雇用を志望して就職活動中である者と、次回もアルバイトを志望する「フリーター予備軍」とも言える者の両者が存在するため、以下の様に分類する。

- a) 正規雇用志望 (No.88～90)：男性2人、女性1人が該当。現在無職ではあるが、美容師免許を持っている (No.88)、ハローワークに通っている (No.89、90) など、現実的に正規雇用を目指して活動している者。
- b) アルバイト志望他 (No.91～93)：男性2人、女性1人が該当。現在無職で、次回就労もアルバイトという形態を志望している者 (No.93)。または、明確に志望してはいないが、次回就労もアルバイトであろうと予測される者 (No.91、92)。

1-4. 非該当 (No.94～99)

千葉県外在住者、または現在も過去もフリーター経験のない者。男性5人、女性1人が該当。

- a) 千葉県外在住 (No.94～98)：東京都江戸川区2人、大田区、品川区、茨城県神栖町の計5人。
- b) フリーター歴なし (No.99)

詳細については、文末1-1表を参照されたい。なお、以下の考察では、「非フリーター」と「無職：正規雇用志望」は、幾つかの項目で重要な内容を含むため調査資料より抜粋掲載するが、基本的に集計の母集団数には含めない。また、既発表のアンケート調査結果と重複する項目については、

本調査報告では割愛する。

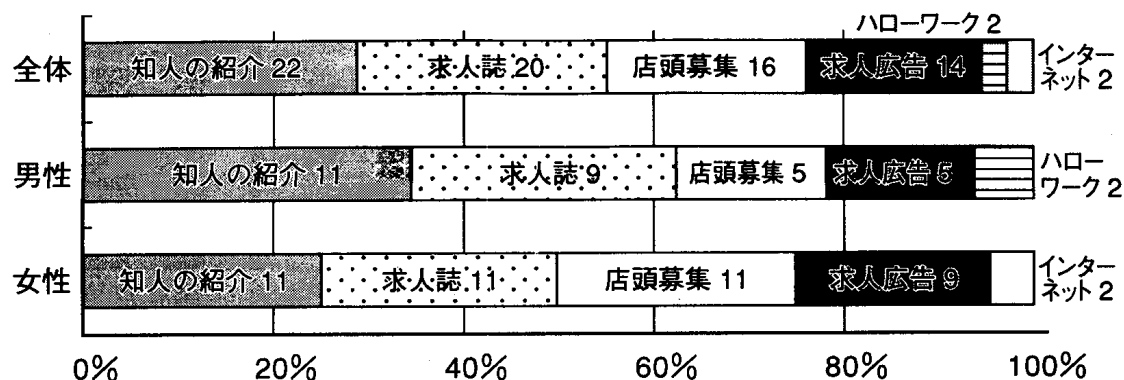
2. 労働に関するデータ

2-1. 現在のアルバイトを見つけた方法

現在のアルバイトを見つけた方法（掛け持ち複数回答、有効回答76件）は、第一位が「知人の紹介」（友人・先輩・身内など、28.95%）、第二位が「求人誌」（26.32%）、第三位が「店頭募集」（21.05%）、第四位が「求人広告」（新聞の日曜折り込みなど、18.42%）であった。「学校に求人広告が来ていて見付けました」（No.36・22歳女性）という学生時代からの継続1件を例外として、基本的にはフリーターとしての職場探しの方法と理解して良からう。

「歩いていて見付けました」（No.10・19歳女性）という回答も「店頭募集」に含めた。また、「毎日のようにアダルトビデオを借りに通っており、その際アルバイト募集の貼り紙を見つけたのがきっかけです」（No.49・20歳男性）、「前の仕事先の居酒屋に現在の仕事先の居酒屋の人達が来ていて（中略）、そこで仲良くなって誘われました」（No.66・24歳男性）、「自分自身がスポーツクラブの会員になり参加していたから」（No.70・29歳女性）など、自身の行動・交流範囲内で見付ける例が殆どのである。

2-1図 アルバイトを見つけた方法

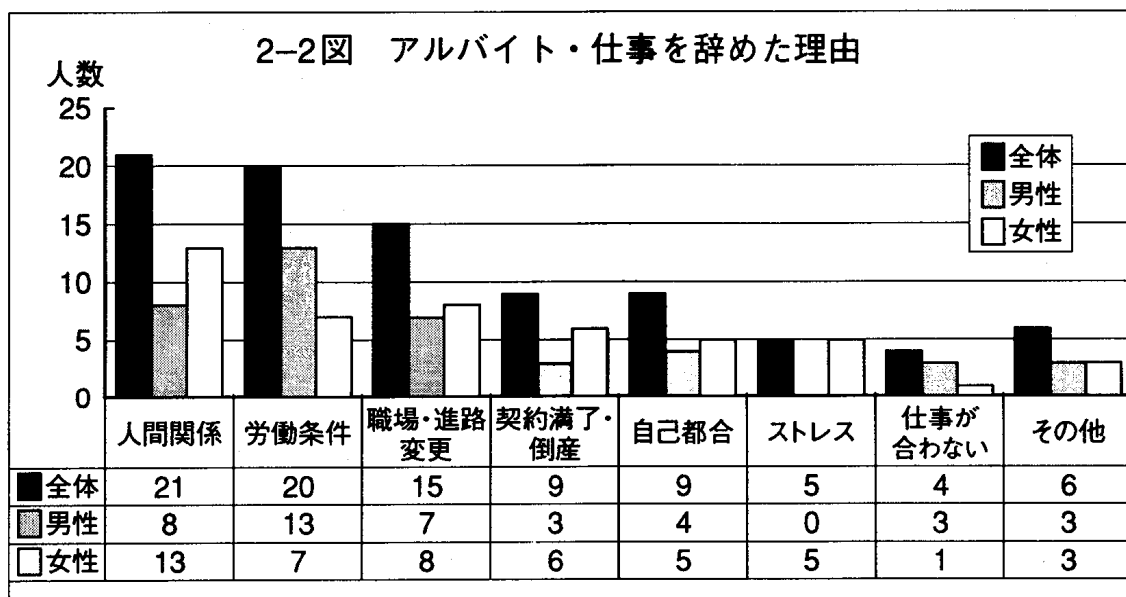


「求人誌」では、リクルート社の無料求人情報誌『Town Work』が12件、有料求人情報誌『FromA』活用は僅か2件であった（その他6件については詳細不明）。フリーターが無料情報を優先取得しているとも捉えられるが、求人媒体そのものの変化という点も看過出来ない。特定職種で今後増加しそうなのが、「インターネット」求人である。今回も「音楽系の求人が出ているサイトです」（No.27・21歳女性）、「インターネット・カフェにてインターネットで仕事を探していたら、偶然見付かりました」（No.35・22歳女性）という2例が示唆的であろう。

2-2. アルバイト・仕事を辞めた理由

アンケート調査2-7の集計結果から、大多数のフリーターが1年半を目途に複数箇所でアルバイトを経験してきたことは明らかなので、ここでは辞める際の理由に着目して考察したい。但し、延べ193件に上るアルバイト・仕事を辞めた理由の中で、「学校の先生に見付かってしまい」（No.02・18歳男性）、「アルバイトと学校（部活）の両方が出来ずに」（No.39・23歳女性）、「高校を卒業し、専門学校に行くのに地元を離れるため」（No.53・21歳男性）など、学生時代のアルバイトを辞めた理由は、フリーター考察としての項目意義が小さいため、集計はフリーター期間の89件（複数回答）に限定する。

第一位が「人間関係」（23.6%）、第二位が「労働条件」（22.47%）、第三位が「職場・進路変更」（16.85%）、以下「契約満了・倒産など」「自己都合」（共に10.11%）と続く。男性は「労働条件」（31.71%、13/41件）が、女性は「人間関係」（27.08%、13/48件）が第一位となった。「ストレス」で辞めた5件は、厳密には「人間関係」やノルマの厳しさなど別項目に加算可能であるが、女性にのみ5件見られるという点で特徴的であり、一項目とした。また、項目分類しなかったが、「人間関係」の中には「セクハラ」により正社員辞職の女性1件が含まれている。



「人間関係」は、「従業員が気に入らなかった」(No.09・19歳女性)、「社員が人として扱ってくれなかった」(No.42・25歳男性)、「レジのお金がなくなって疑われたことにムカついて辞めました」(No.48・19歳男性)、「2ヵ月位働いた時に友達が悪さをしたために、巻きぞいでクビになりました」(No.52・21歳男性)、「先輩達に聞いてもなかなか仕事を教えて貰えなかった」(No.58・18歳女性)、「上司によるセクハラというか、ストーカーというか、誘いを断ると嫌がらせをされ、職場に居づらい雰囲気にされたため」(No.61・22歳女性) など計21件。特に、店長を始めとする上司との不仲・トラブルが多い。

「労働条件」は、「暑い中での単純作業が嫌になった」(No.11・20歳男性)、「残業代が出ず割に合わない」(No.19・21歳男性)、「日曜日に休みが欲しかったから」(No.21・21歳女性)、「店長から『週5日働いて欲しい』と言われ、通うのが辛かった」(No.32・22歳女性)、「給料が一定でなかったから」(No.52・21歳男性)、「ほとんど休みが取れなかったので、しばらく休みが欲しかった」(No.65・21歳男性)、「会社の歯車になり自分の理想とは大きくかけ離れていたため」(No.70・29歳女性) など計20件。

「職場・進路変更」は、「今やっている宅配ピザ店の仕事の方が楽しく時給が良かったので掛け持ちを辞め宅配ピザ店だけにしました」(No.02・18歳男性)、「たまに手伝っていた仕事場に引っ張られたため」(No.62・23歳男性)、「就職先が決まった」(No.64・23歳女性)、「近くの予備校を発見し通うようになり、本格的に勉強に専念しようと決意したから」(No.68・28歳男性)、「留学のため」(No.69・28歳女性) など計15件。

「契約満了・倒産など」は、「お歳暮の時期だけの仕事だから、時期が終わったら自然に辞めた」(No.21・21歳女性)、「スノーボードなどのシーズンが終わったため」(No.29・22歳男性)、「短期アルバイトだったので契約が切れたから」(No.34・22歳女性)、「お店が火事になって営業出来なくなったから」(No.36・22歳女性)、「その店が潰れたから」(No.55・23歳女性)、「会社が傾きかけたから」(No.68・28歳男性) など計9件。

「自己都合」は、「行くのが面倒臭かったから」(No.37・23歳男性)、「一度無断欠勤をしてそれから行かなくなりました」(No.46・18歳男性)、「頭髪を注意されたが直さなかったため、クビになりました」(No.53・21歳男性)、「店員同士の仲も良く楽しかったが、それもあって彼氏があまり良く思っていなかったので、辞めろと言われて辞めることになりました」(No.59・20歳女性)、「つまみ食いをしてしようとしてその前に見付かってクビになりました」(No.64・23歳女性) など計9件。「自己都合」というよりも「自分勝手」という側面は否めず、その事由による雇主側からの解雇が少なからず見受けられる。

「ストレス」は、「おばさんにいじめられ、ストレスで胃炎になって」(No.22・21歳女性)、「ストレスのため体調を崩したから」(No.26・21歳女性)、「営業ということもあって胃が痛くなったり、契約が取れないことがストレスになり、嫌になった」(No.59・20歳女性)、「1ヵ月のノルマなどで非常にストレスが溜まるため」(No.60・22歳女性)、「接客が難しく、初めてのお水で神経使って疲れた」(No.64・23歳女性) の5件。

「仕事が合わない」は、「自分に合っていないと思ったから」(No.18・21歳男性)、「仕事が向いていなかった」(No.67・25歳男性) など計4件。「職場・進路変更」とも取れるが、より良い労働条件を求めての転職に比べ消極的理由という意味で、別項目とした。

「その他」は、「何も考えませんでした」(No.17・21歳男性)、「腰痛のため」(No.22・21歳女性)、「特にありません」(No.28・21歳女性)、「交通事故にあったから」(No.51・21歳男性)、「仕事が単調でつまらなかった」(No.55・23歳女性)、「つまらなかったから」(No.66・24歳男性) の6件。

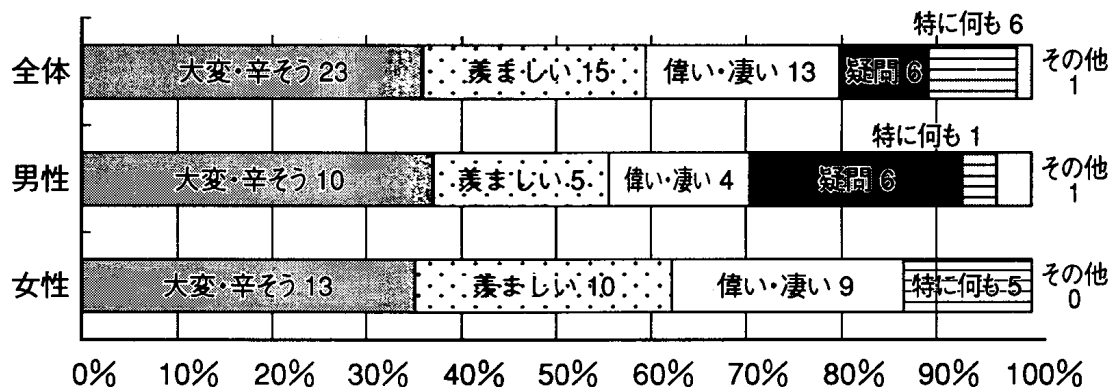
2-3. 正社員の人をどう思いますか

アンケート調査4-2-aの正社員の仕事(就職)を「希望しない」と答えた女性が47.4%に上る点を踏まえ、正社員(会社勤め)の人をどう思うか(複数回答、有効回答64件)について集計したところ、第一位が「大変・辛そう」(35.94%)、第二位が「羨ましい」(23.44%)、第三位が「偉い・凄い」(20.31%)であった。

羨ましい面もあるが、大変そうで自分には出来ないという辺りが一般的意見か。正社員経験のある者(No.58~71)に限定して見ても意見は区々で、傾向的には全体と同様であった。特徴的なのは、男性のみ6件の「疑問」で、「やりたくない仕事に就いている人は、フリーターの人の方がましだと思う」(No.18・21歳男性)、「その仕事は本当に楽しいのか、自分でやりたいことをやっているのか」(No.44・26歳男性)など、自分の意思でやりたい仕事に就いているかどうか争点のようである。

「大変・辛そう」は、「毎日を正社員として過ごしているので個人的な時間がなくて大変だと思う」(No.03・18歳男性)、「責任感などで大変だと思う」(No.12・20歳女性)、「自由がきかなくて大変だと思う」(No.32・22歳女性)、「彼氏も常勤労働者で、残業代の付かない残業をさせられていて、

2-3図 正社員の人をどう思うか



働いた分を貰えないのは気の毒です」(No.56・24歳女性)、「縛られていて、勤務地も選べず大変だと思います」(No.66・24歳男性)など計23件。フリーターに比べれば、時間的・身分的に自由度が低い点を嘆く声が多い。

「羨ましい」は、「社会保障があるところが羨ましいです」(No.27・21歳女性)、「なりたい職業に就いている人はとても羨ましく思えます」(No.41・24歳男性)、「社会的に安定している面が羨ましいです」(No.43・25歳男性)、「月の給料が安定していて、ボーナスも出るから良いと思う。同じように働いていて不公平にも感じる」(No.69・28歳女性)など計15件。やはり、賞与や社会保障などの労働・生活条件の違いを羨む声が多い。

「偉い・凄い」は、「しっかりして住む世界が違うように思い立派だと思う」(No.15・20歳女性)、「毎日電車で揺られ、上司に怒鳴られながらもがんばっているだろうと思うと、尊敬します」(No.20・21歳男性)、「多大なストレスの中でがんばっていらっしゃって…凄いと思います」(No.36・22歳女性)、「自分がある程度抑えながら会社に貢献出来る忍耐や努力が持続出来ることは凄いと思う」(No.70・29歳女性)など計13件。我慢しながらも続けているという点が、自分には出来ないことなので評価するという意見が多い。

「特に何も」は、「皆それぞれ一生懸命生きていれば、何でも良いと思う」(No.26・21歳女性)、「特に何とも思いません。どんな職種の立場だろうと、

一生懸命働いていれば良いと思います」(No.71・30歳男性) など計6件。

「その他」は、「今の仕事場の社員は色々教えてくれて優しいです」(No.46・18歳男性) の1件。

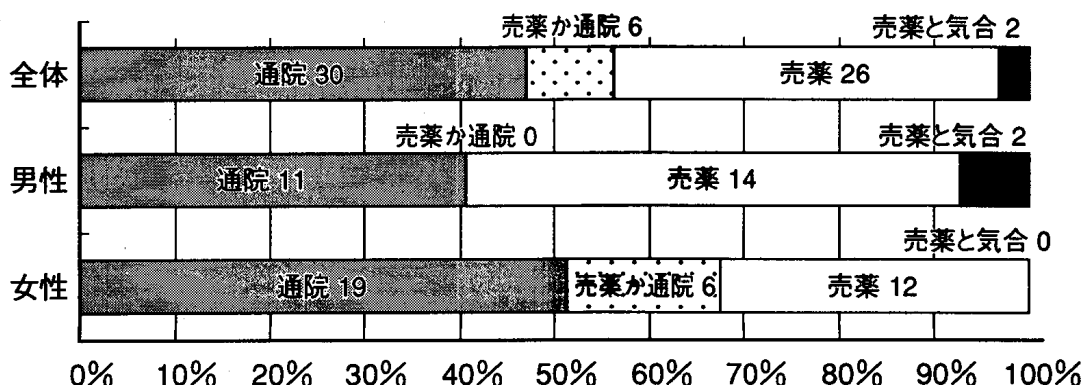
3. 生活に関するデータ

3-1. 病気に罹ったらどうしますか

a) 病気に罹った場合（有効回答64人）：全体としては第一位が「医者
に診て貰う」（46.88%）、第二位が「売薬で済ます」（40.63%）である
が、男性は「売薬で済ます」（51.85%、14/27人）、女性は「医者に診
て貰う」（51.35%、19/37人）が半数以上を占めた。病気の程度に応
じて「売薬か通院」という一般的回答は、女性のみ6人と小数。

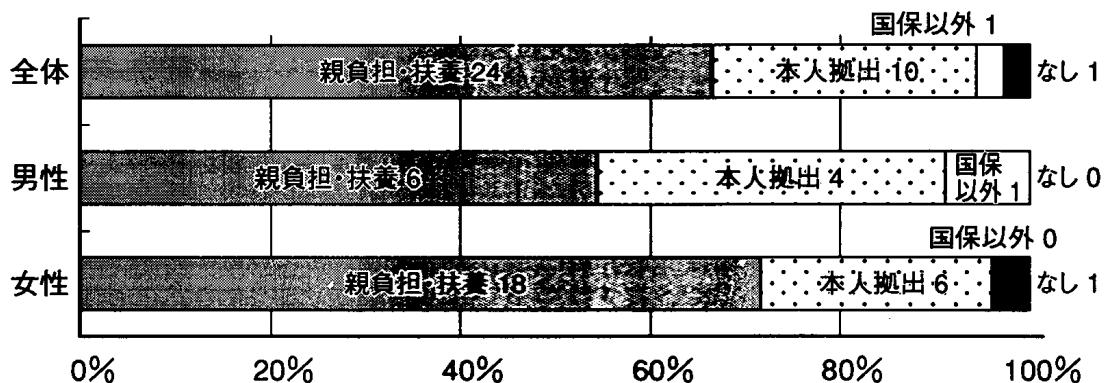
罹病の際、「市販の薬を飲まず、国民健康保険を持って行って医者
に診て貰います」(No.13・20歳女性) など、女性の7割弱が通院で対
処するのに対し、男性の6割が売薬によって一換言すれば、病院に行
かずに一治すという差が見られた。「気合で治す」という18歳男性2
名が (No.03、No.46)、その特徴を端的に示していよう。

3-1a図 病気に罹った場合



b) 健康保険証：「医者に診て貰う」と「売薬か通院」の計36人について、通院・入院の際に必要な健康保険証はどうしているのか。「病気やけがの場合は、実家に帰り医者で診て貰います」（No.09・19歳女性）という回答は、「扶養家族」資格で健康保険にカバーされていると推察出来る。だが、「健康保険の支払いは親が払っています」（No.19・21歳男性）という回答は、自分の国民健康保険に親が拠出しているのか、親の「扶養家族」になっているのか判断しかねる。いずれにしてもその財源を親が拠出しているという意味で、「扶養家族」と「親負担」を同じ括りとした。また、「保険料を支払っているので国民健康保険で医者で診て貰います」（No.56・24歳女性）、「国民健康保険10,064円」（No.71・30歳男性）など、収入使途に明記されている事例以外は、その限られた収入から自分で拠出負担しているとは考え辛く、「親負担・扶養」の項目にカウントした。その結果、「扶養・親負担」が第一位の66.67%で、女性では72%（18/25人）に及ぶ。

3-1b図 健康保険証（通院者のみ）



なお、「近くの医者で診療して貰っていますが、保険証はありません」（No.35・22歳女性）という1人は、かかった医療費の全額を窓口負担していることになる。

また、アルバイトであっても、「健康保険は会社の社会保険に加入して

います」(No.53・21歳男性)との回答が1人あったが(3-1b図の「国保以外」)、一方「正社員」であっても、「国民健康保険に加入しているので、医者に診て貰い窓口で3割負担をしています。勤務先での保障はないです」(No.73・20歳女性)、「勤務先に保障がないので売薬で済ませています」(No.74・20歳女性)という回答もあった。従業員5人未満で法人格を有さない事業所については、政府管掌健康保険の強制適用事業所から排除されるという制度的欠陥を露呈している一例と言えよう。

罹病率は加齢に比して増加する傾向にあるから、若年層であるフリーター諸君には未だ通院そのものが必要ないのかも知れない。だが、自分の保険証を持っていない、あるいは保険証はあるが治療費の3割の窓口負担が出来ないので売薬で治すしかない、という可能性も考え得る。上記データを基に、健康保険への本人拠出を行った上で通院により病気を治すフリーターを再計算すれば、僅か17.19%(11/64人)に留まる。疾病とは、稼得中断と追加的支出という二重の意味で貧困をもたらす害悪である。その害悪に対しいつかは親負担や親扶養に頼れなくなる日が来るのだから、低収入が故に本人拠出や通院の困難である現状を鑑み、アルバイト料からの天引きによる政管健保加入、医療費の無料化など、制度的欠陥を克服する何らかの国家対策が必要ではなからうか。

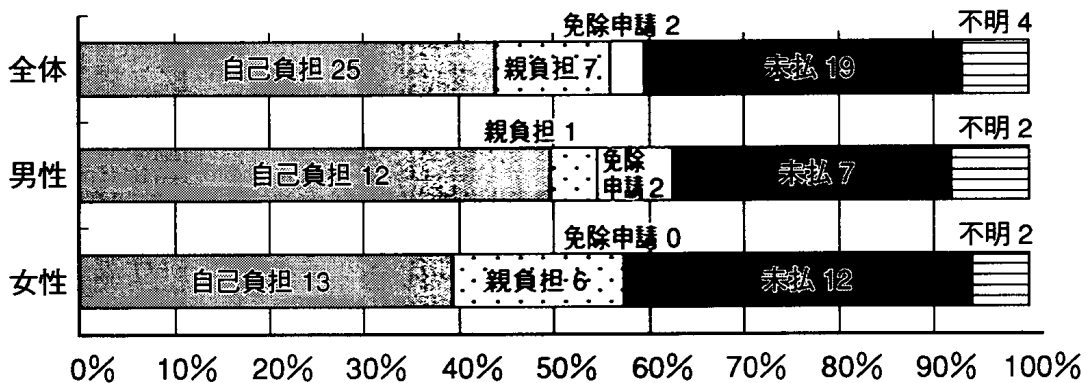
3-2. 国民年金を払っていますか

強制加入適用対象外の20歳未満者14人(男女各7人)を除き、57人(男性24人、女性33人)を集計対象とした。

何らかの拠出を行っているという意味での「自己負担」「親負担」「免除申請」の計は、全体の59.65%に達する。拠出している女性では、「親負担」比率がやや高く、免除申請はなかった。アンケート調査3-4の19.26%(数値は自己負担のみ)に比して、今回の拠出負担者6割は予想以上の高い数

値である。だが、3人に1人の割合で「未払」³が存在し、未払理由に「安定した収入がないので加入はしていません」(No.12・20歳女性)、「周りの人が払っていないので加入していません」(No.15・20歳女性)、「面倒臭いので加入していません」(No.19・21歳男性)、「理由は、後で支払えば良いやという気持ちです」(No.24・21歳女性)、「年金はよくわからないため、払ってはいない」(No.38・23歳男性)、「理由は面倒なのと、信用していないからです」(No.44・26歳男性)、「お金を支払う余裕がないので加入していない」(No.70・29歳女性)などが挙げられている点を鑑みると、財政的・心理的理由が絡み合った上での“若者の年金離れ”が深刻なことに変わりはない。適用対象年齢前にも拘わらず、「20歳になっても滞納するかも知れません。バカバカしいからです」(No.08・19歳女性)という意見もあった。

3-2図 国民年金拠出状況



「現役フリーター」以外では、「派遣・契約社員」に第2号被保険者（厚生年金加入者）が多く、また「既婚女性」は第3号被保険者として加入している。だが、「正社員」であっても、「国民年金に加入していて、自己負担をしています」(No.73・20歳女性)、「国民年金には加入していて自己負担です」(No.74・20歳女性)など、上記健康保険と同様、法人格を有さない従業員5人未満企業労働者が厚生年金に加入出来ない問題が発生している。「国民年金は、今は学生なので申請免除を出しています。フリーター

だった頃は、面倒だったしお金もなかったので加入していませんでした」(No.86・22歳男性)という現専門学校生の回答も踏まえ、国民年金財源をどこに求め得るのか。国民の生存権を保障する制度としての再構築が急務であろう⁴⁾。

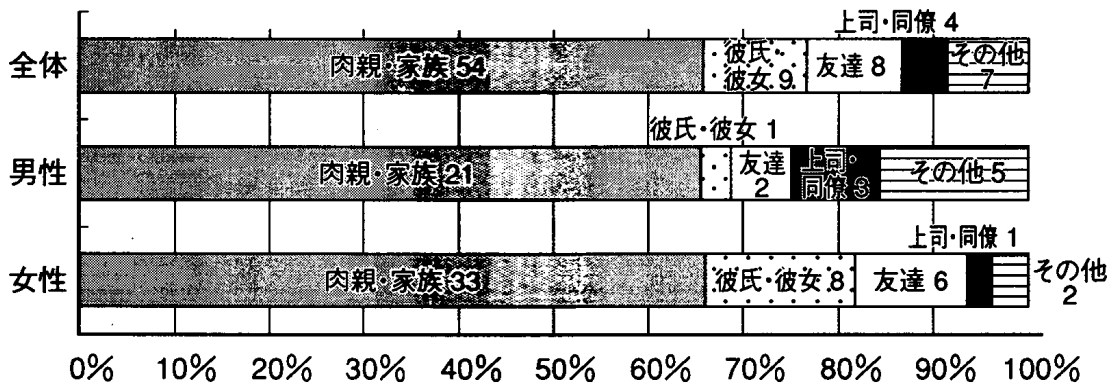
3-3. いざという時に頼りになる人

いざという時に頼りになる人(複数回答、有効回答82件)は、「肉親・家族」が第一位で、全数の65.85%。無回答8人を除く63人中、実に54人(85.71%)が「肉親・家族」と回答している。アンケート調査3-1「同居者」の約75%が「家族」であった点からも、ある程度推定し得た結果と言えよう。

「家族」という表現は、「いざという時に頼りになる人は、家族、特に両親です」(No.52・21歳男性)との回答もあるように、「両親」に加え「兄弟」「祖父母」等を含むか否かで厳密には違うという指摘もあろう。だが、その際「兄弟」「祖父母」等の有無にも関わってくるし、逆に「肉親」という回答の中にも、死別・離別で「母親」(No.03・18歳男性、No.14・20歳女性、No.18・21歳男性、No.28・21歳女性)、「父親」(No.09・19歳女性、No.61・22歳女性)どちらか一方のみを答えざるを得ないという場合もある。重複集計を避けるという点でも、ここでは大括りに同一集計とした。但し、「両親」「家族」に触れず、「兄弟」のみを挙げた者が1人いた(No.66・24歳男性)。また、親が再婚した事例中(No.09、No.14)、その新しく親となった再婚相手を、頼りになる人に挙げる者は今回いなかった。女性では、「彼氏」「友達」を頼りにする人数が男性に比べて格段に多く、男性では職場の「上司・同僚」を頼りにする傾向がやや見られた。

「その他」は、「同居人」(No.20・21歳男性、3人でルームシェア)、「いない」(男性3件)、「今のところありません」(No.39・23歳女性)、「特に

3-3図 いざという時に頼りになる人



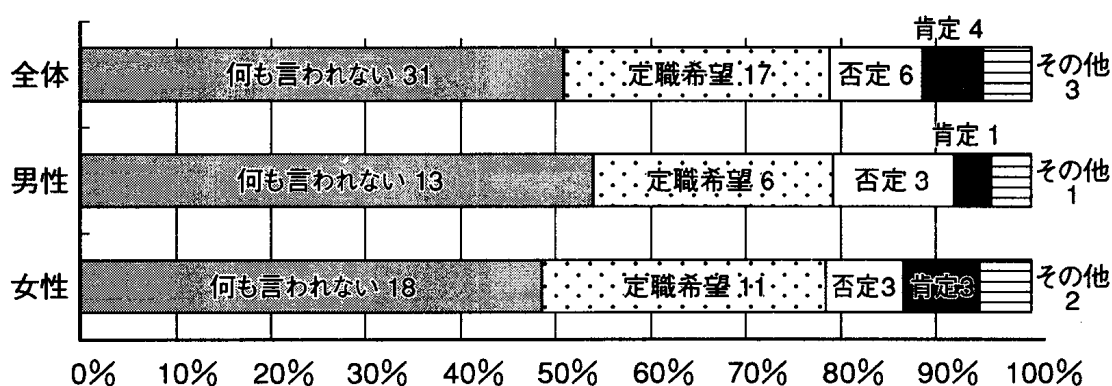
考えていないのでわかりません」(No.36・22歳女性)、「自分」(No.43・25歳男性)の計7件。

3-4. 家族から言われること

フリーターについて家族から言われること(有効回答61人)は、第一位が「特に何も言われたい」(50.82%、男性54.17%、女性48.65%)、第二位が「定職に就いて欲しい」(27.87%、男性25%、女性29.73%)であった。半数以上の親がフリーターである子供に何も言わないのは、「人様に迷惑を掛けなければ良い」(No.2・18歳男性)、「好きなことを自分の責任の範囲ですれば良い」(No.11・20歳男性)、「出来れば実家に戻って薬屋を継いで欲しいようですが、僕がある程度自立して生活しているので」(No.43・25歳男性)など、自分の子供を一人前の大人として認め、その生き方には口出しをしないという善意の解釈も成り立つ。だが、「『ちゃんと就職しなさい!』『フリーターでいられるのは1年間だけだぞ』と最初は言われていたが」(No.09・19歳女性)、「『昼に働きなさい』と言われていたが、最近は言われなくなりました」(No.32・22歳女性)などを見ると、半ば諦めと言うか、親が子供を叱らない時代になっているようである。家族(特に両親)が定職を望む傾向は、息子よりも娘に対して若干強いようである。「収入が安定している場所で働け」(No.12・20歳女性)、「定職

に就いたらどう？」(No.15・20歳女性)「保険のある仕事をした方が良い」(No.21・21歳女性)など、表現上の相違はあるが、正社員としての就職を希望する声であろう。だが、果たして現在どの程度「女性の社会進出」は達成されているのであろうか。「女だから結婚するまでに貯えられれば良いと思われていると思います」(No.56・24歳女性)という回答も無視出来ない。

3-4図 家族から言われること



「否定意見」は、「定職でもアルバイトでも、昼間の仕事を何かしなさい。遊んでも良いのは20歳までだよ」(No.06・19歳女性)、「早く自立して暮らせ」(No.51・21歳男性)、「もっとしっかりしろ」(No.55・23歳女性)、「早く落ち着け」(No.66・24歳男性)など計6件。

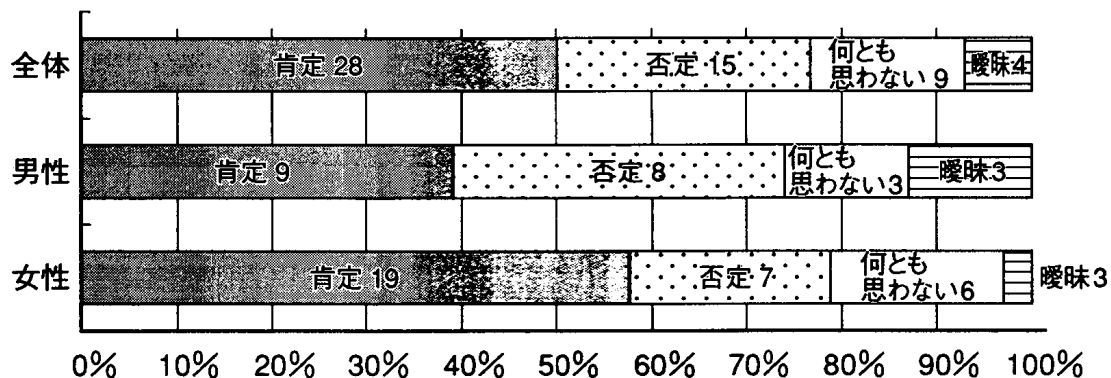
「肯定意見」は、「パートでも良いから今の仕事を続けろ」(No.23・21歳女性)、「生活のために働け、後はやりたいことがあるならやれるだけやった方が良くから、夢に向かってがんばれ」(No.40・23歳女性)など計4件。「その他」は、「安定していないので心配している」(No.30・22歳女性)、「このままフリーターを続けていくかどうか」(No.52・21歳男性)、「生活していけるか？」(No.67・25歳男性)の計3件。

4. 「フリーター」に関するデータ

4-1. 「フリーター」であることをどう思いますか

自分がフリーターであることをどう思うか（有効回答56人）は、「肯定」50%、「否定」26.79%と、自己肯定が半数を占めた。特に女性では、6割弱（57.58%）が自己の現状ないし立場を肯定している。アンケート調査4-2-bのアルバイトが「楽しい」と答えた女性が半数を超えている点を、ある程度裏付ける結果と言えよう。

4-1図 自分がフリーターであることをどう思うか



「肯定」は、「特に悪いこと、落ちこぼれとは思いません。一種の選択としてあるべきだと思います」（No.08・19歳女性）、「仕事を真面目にがんばっているつもりなので素晴らしいと思う」（No.26・21歳女性）、「自由で良いと思うし、経験が豊かになるので良いことだと思う」（No.28・21歳女性）、「気ままな生活をしていると思う。今の時代に失われていることが出来ている感じです」（No.56・24歳女性）、「趣味に時間を多く使えるので充実感があります。縛られるものが少ないので、ストレスがあまり溜まっていないと思います」（No.65・24歳男性）など計28人。

「否定」は、「今のままではなく、定職に就いた方が良いと思います。それに、親に迷惑をかけたくないです」（No.06・19歳女性）、「『こんなので

良いのか？結局、甘えているだけなのか？』って、どうしようもない奴だって自分で思います」(No.25・21歳女性)、「このままではいけないと思っています。あと、何で自分はフリーターなんだろうと考えることも良くあります」(No.31・22歳女性)、「とても嫌です。フリーターという不安定な状態が、とても自分には合っていないと思います」(No.41・24歳男性) など計15人。

「何とも思わない」は、「まだ高校を卒業したばかりなので何とも言えません」(No.04・19歳男性)、「あくまで途中の段階なので、特別な意識はありません」(No.40・23歳女性)、「特に何とも思いません。どんな職種の立場だろうと、一生懸命働いていればいいと思います」(No.71・30歳男性) など計9人。

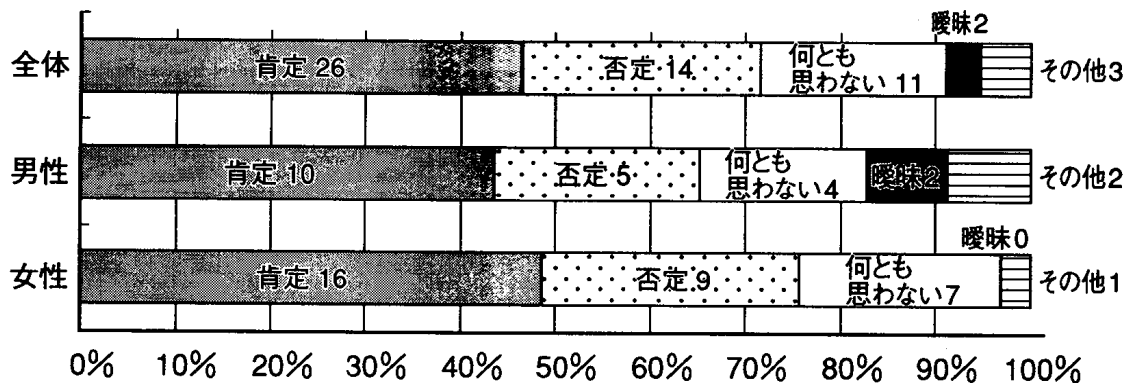
「曖昧」は、「良くも悪くも思っていません。きちんとした方が良いのか悩む自分と、将来の夢に向かってがんばっている自分がいるからです」(No.11・20歳男性)、「これも一つの経験だから良いと思うが、長い間続けるのは心が痛む」(No.30・22歳女性)、「このままでは良くないと自覚はしているのですが、夜の仕事の楽しさがそれを紛らわせてしまっていてなかなか辞められない状態です」(No.43・25歳男性)、「社会的立場がなく、保障が一切なく不安だ。車などのローンも組めず、自分がこのままで良いのか迷っています」(No.47・19歳男性) の4人。

4-2. 他のフリーターの人をどう思いますか

第三者としてのフリーターをどう思うか（有効回答56人）は、「肯定」46.43%、「否定」25%と肯定意見が多いが、4-2の自己肯定5割には及ばなかった。その分「何とも思わない」がやや増えたものの、他者への無関心というより、「自分のことで手一杯ですから」(No.33・22歳女性) という辺りが本音であろう。女性の「肯定」が48.48%と多いが、以下項目別に見られるように、女性が男性フリーターを「否定」する意見が目立ち、

「肯定」については同性フリーター限定の可能性が高いと思われる。また、「ちゃんとアルバイトして、親に頼っていなければ良いと思う」(No.21・21歳女性)、「夢や目標の準備段階としてがんばっている人は良いと思います」(No.60・22歳女性)など、条件付き「肯定」も多く、自己肯定に比べると厳し目と言えよう。

4-2図 第三者としてのフリーターをどう思うか



「肯定」は、「本人が満足しているなら良いと思います」(No.07・19歳女性)、「みなさんそれぞれ理由があってフリーターになっていると思うので、別に良いと思います」(No.42・25歳男性)、「皆それぞれの生き方があって面白いと思います」(No.66・24歳男性)、「社員と違い会社を守られている訳ではないので、返って自分に対する責任を負っている身なので、しっかりしているのではないかと思います」(No.70・29歳女性)など計26人。

「否定」は、「フリーターの男性はもっとだらし無いと思います。目的もなくフリーターをしているなら、何かしらの仕事に就くべきだと思います」(No.09・19歳女性)、「ある程度の年齢までいっている男性がフリーターではどうかと思います」(No.22・21歳女性)、「将来のことを考えているのか、そしていつ行動を起こすのか疑問に思います」(No.67・25歳男性)、「若い男性がただお金のため、遊ぶため、楽だからという理由でフリーターであるのは良くないと思う」(No.69・28歳女性)など計14人。

「何とも思わない」は、「他人は他人だと思うし、自分の人生どうしよう

とその人の勝手だから、私には関係ないことです」(No.25・21歳女性)、
「同僚などを見ても、他人のことなので別に何とも思いません」(No.44・
26歳男性) など計11人。

「曖昧」は、「目標を持っている人は良いが持っていない人は持った方が
良いと思う」(No.03・18歳男性)、「夢があるのはいいと思うが、何も考え
ていない人はヤバイと思います」(No.16・21歳男性) の2人。偶然にも男
性のみの意見であるが、目標の有無でフリーターの善し悪しを判断する傾
向が見られる⁵⁾。

「その他」は、「同僚を見ていると自分を見ているようで変な安心感を持
っています」(No.43・25歳男性)、「人ごとではないが、将来を心配します」
(No.52・21歳男性)、「友人などにフリーターが居ないので判りません」
(No.56・24歳女性) の3人。

4-3. 将来の夢・展望

将来の夢・展望（複数回答86件、回答者実数70人）は、第一位が「結
婚・幸せな家庭」（実数比37.14%）であるが、男性6.67%に比し女性60%
と偏りが顕著。「早く自分のやりたいことを見付けてその仕事に就き、幸
せな結婚がしたいです」(No.54・21歳女性) というように、最終目標は結
婚であるが、一義的な目標（あるいは手段目的）は定職とする意見も多い。
もちろん、「いつか今の彼氏と結婚して、子供をもうけて普通の幸せな家
庭を作りたいです」(No.34・22歳女性)、「将来の夢は幸せな家庭を築くこ
とです。彼氏に幸せにして欲しいです」(No.55・23歳女性) などの現実的
結婚観も見られる。だが、「結婚したいのに相手も居ないフリーターはか
なり辛い(中略)。とにかく早く結婚したいです」(No.21・21歳女性)、「何
かがしたいが、その何かがわかりません。いまは好き勝手楽しくやりたい
と思います。そのうち結婚すると思うから」(No.64・23歳女性) など、相
手未定や単なる願望、楽観的展望が大勢。現状はフリーターでも、「男性

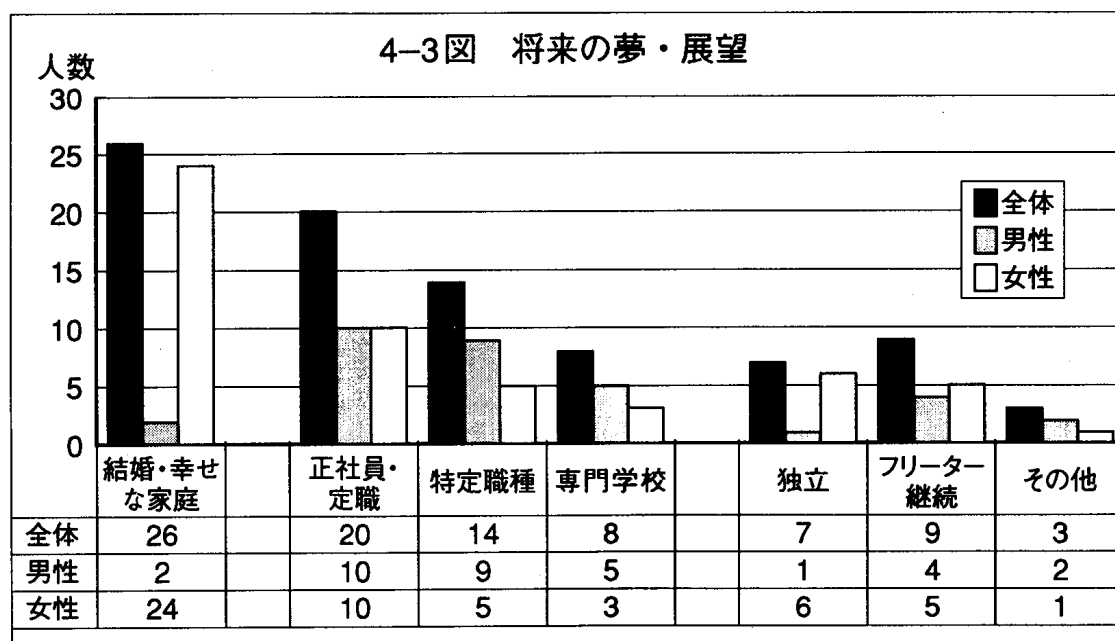
は定職に就いた方が良く、フリーターとは結婚したくはないです」(No.61・22歳女性)という厳しい意見もある。彼女達をいわゆる「モラトリアム型」に分類することは容易であるが⁶⁾、「女性が結婚までフリーターであること」については、家事・育児・介護を始めとする性別役割分業の是非も含め、女性の「社会進出」に密接に関わる事項であり、入念且つ慎重な検討が必要であろう。

「フリーター継続」は9件(実数比12.86%)と意外にも少なく、「定職志望」が42件(実数比60%)を占めた。特に、男性では80%に達し、フリーターという現状から脱却したいという願望が強いようである。内訳は、「正社員・定職希望」20件、「特定職種希望」14件、「専門学校」で技能を習得し、将来的にはその職種に就きたいという希望が8件。

「正社員・定職希望」は、「この先の将来、自分のやりたい仕事を絶対見付けて就職したいと思います」(No.10・19歳女性)、「本当にやりたいことを見付けて、バリバリ働きたい」(No.21・21歳女性)、「フリーターを続ける気はなく、定職に就きたいと思ってはいるものの、今現在就職活動を行っている訳ではありません」(No.44・26歳男性)、「厳しい生活になりそうなので、将来を安泰に過ごすためにも早く定職に就きたいと思っています」(No.57・28歳男性)など、特定目標はないがフリーター継続ではいけないとは思っている、という見解である。男性の3人に1人を占める層ではあるが、就職活動など実際に行動を起こすかどうかは未定で、単なる願望に過ぎないという曖昧さは払拭し得ない。

「特定職種」は、ビックなイベンター(No.08・19歳女性)、プロレスラー(No.11・20歳男性)、プロスケーター(No.29・22歳男性)、映像製作(No.38・23歳男性)、役者(No.40・23歳女性)、プロミュージシャン(No.53・21歳男性)など、アルバイト職種とは別の、憧れの職業を追いかけている傾向が見られる。

「専門学校」は、語学・法学（No.03・18歳男性）、美容師（No.04・19歳男性）、介護福祉（No.17・21歳男性）、DTPデザイン（No.39・23歳女性）、保父（No.47・19歳男性）・保母⁷⁾（No.50・20歳女性）など、職業に直結した具体的目標や時期を設定済みで、その費用負担は親という意見が多かった。



「独立」は、北欧風カフェ（No.20・21歳男性）、雑貨・洋服屋（No.28・21歳女性）、定食屋（No.31・22歳女性）、スナック（No.63・23歳女性）、エアロビ教室（No.70・29歳女性）など、「自分の店」を持ちたい女性を中心に7件。必ずしも定職を媒介としない上に、実現難易度の高さも考慮し、別枠扱いとした。

「その他」は、「宝くじを当てて楽をしたい」（No.01・18歳男性）、「結婚は別にしたくありませんが、子供は欲しいです」（No.13・20歳女性）、「将来の夢は、億万長者です」（No.66・24歳男性）の3件。

むすびに代えて

厚生労働省による定義上、フリーターには15歳から34歳という年齢制限がある。では、35歳からのフリーターを何と呼ぶのだろう。彼ら自身はフリーターであると自称するだろうが、周りから見れば「中年アルバイト」「中年パート」。経営者としても、生産性・効率性の面で若年労働力——しかも人件費削減策として、正社員ではなく新たなフリーター——との代替を図るであろう。その時定職に就きたいと思っても、新規学卒採用すら厳しい現況で、需給のミスマッチや求人年齢の壁、フリーターであったというそのことが不利に働く可能性もある⁸⁾。アルバイトすら儘ならないその段階になって、何とか日雇労働の口に在り付ければ良い方、という狭い選択肢しか残されないのではないか。端的に言えば、フリーター→失業者→日雇労働者→路上生活者という一つの道筋、労働・生活条件での長期転落構造の形成を危惧するのである。私が、フリーター問題を「貧困問題」として捉えねばならないと主張する理由の一つがここにある。

フリーター急増は、一方では、「合理化」や産業構造の変化に伴うフリーター求人急増の産物であることは否定し得ないだろう。正社員と何ら変わらぬ労働日数・時間・内容でも、年収は同年代の正社員に比して格段に少ないという実質的不平等を是正するために、正社員雇用増に向けての企業・経営者側の理解と努力が望まれる。4-3で見た通り、フリーター実数に占める正規雇用志向は——行動の有無はともかく——60%に上るのだから、彼らの希望に足るだけの求人増を期待したい。

また、国家政策としては、最低賃金基準の見直しと引上げ、同一労働同一賃金の原則に基づく賃金の再評価、未組織労働者の労働組合への組織化、年次有給休暇の付与、政管健保・厚生年金・雇用保険のアルバイトへの適用など、彼らの労働・生活条件を改善する政策を即時検討・実施すべきで

あろう。3-1・3-2で見たように、フリーター生活の継続は、無保険者・無年金者を創出する温床となり得ることは間違いないのだから。

だが、失業という一要因のみでは路上生活者が生み出されないのと同様に⁹⁾、2003年の52万人無業者¹⁰⁾の社会問題化も含め、心理的要因——言うなれば「心の貧困問題」——を追求し、若者の労働へのインセンティブを惹起することも重要であろう。頭では理解しているが行動に移せない、彼らは正にその点を苦悩しているのであり、相談相手・助言者としての第三者の存在が必須ではなかろうか。その意味で、家庭、地域、教育機関の果たす役割は益々その重要度を増すと思われる。果たして、フリーターの行き着く先はどこなのか。調査を継続実施していく必要性は高いだろう。

注 1) 星真実「千葉県のフリーター（2002年6月～2003年7月）」（『経済文化研究所紀要』敬愛大学、9号、2004年3月）。

2) 調査員は、金沢祐介、青木和宏、秋本隼介、秋元唯、石井一明、石原達也、今井経彦、岩波憲和、江川裕、金田達司、木村茂隆、澁谷優佑、白井智史、千葉祐幸、青山、鳥之海聡、藤代真土、牧野晋志、松沢修一、水島恭平（以上当時4年ゼミ）、飯島梨絵、石毛健太、石田愛、井上美香、伊橋裕晃、上田有紀、江口真司、江野澤卓、大友成、大平義紀、海保直也、加瀬公美子、鎌田雅美、貴志真妃、君和田佑子、桐山敏、郡司直高、新堀優、高橋秀行、滝口明生、但野卓郎、永野勝俊、名須川史成、樋尾雄一（以上当時3年ゼミ）、三橋勇介（当時1年ゼミ）の計45名（敬称略）。各々の担当は文末1-1表に記載。

3) 個々人の調査報告では、「（国民）年金には加入していません」という記述が多いが、国民年金は20歳以上の全国民強制加入制度であり、実態は拠出滞納と推定されるので、集計においては「未払」として扱った。

4) 国民年金の財源問題に関する拙稿として、星真実「国民年金の国庫負担問題に関する一考察—社会保障の財源構成（調達）の在り方を基点として」（『賃金と社会保障』旬報社、1306号、2001年9月）を参照されたい。

5) 同様に、フリーターを「二分法で捉える視点」については、日本労働研究機構『フリーターの意識と実態—97人へのヒアリング結果より—』の77～80

ページに言及がある。

- 6) 「たとえ正社員として雇用されてもキャリア展開がとざされがちでありかつ結婚・出産後はパート就労がむしろ本人の生活スタイルに合致していることが珍しくない女性にとって、フリーターになることへの抵抗は男性よりもはるかに少ないと考えられる」との指摘は正しかろう。ただ、今回の調査では、女性フリーター限定で「結婚願望型」と分類して差し支えないような母集団が形成されており、千葉県女性フリーターのみの特色であるかどうかも含め、検討が必要である。／日本労働研究機構、上掲書、46ページ。
- 7) 「保父」「保母」共に、平成11年4月の児童福祉法改正により、性別に関わらず「保育士」という名称に統一されたが、ここでは調査対象者の回答通りの表記とした。
- 8) 厚生労働省「雇用管理調査」(2004年)によると、フリーターをいわゆる正社員として採用する場合、フリーターであったことを「プラスに評価する」企業割合は3.6%、「マイナスに評価する」企業割合は30.3%。平成15年の1年間に、「フリーターを正社員として採用していない」企業割合は83.0%。
- 9) 路上生活者となる原因分析に関する拙稿として、星真実・小澤薫「現代の貧困と社会保障―川崎「路上生活者」の実態を踏まえて」(『経済研究所年報』中央大学、30号、2000年3月)を参照されたい。
- 10) 厚生労働省『平成16年版 労働経済白書』では、「非労働力人口のうち、特に無業者として、年齢15～34歳、卒業者、未婚であって、家事・通学をしていない者に限って集計したところ、2003年では52万人(前年比4万人増)となっている」(155ページ)とある。

1-1表 調査対象者の内訳と個別データ

No.	名前	性別	年齢	居住地域	出生地	アルバイト(※正社員)	業務内容
1-a. 現役フリーター：卒業→フリーター							
01	SK	男	18	八千代市	茨城県	カラオケ店	接客・清掃
02	SM	男	18	八千代市	長野県	宅配ピザ店	配達・清掃
03	KI	男	18	千葉市	千葉県	ファミレス 宅配ピザ店	配達・調理・清掃
04	MS	男	19	千葉市	千葉県	コンビニエンスストア	レジ・品出し
05	HN	女	19	君津市	千葉県	デパート	包装・営業・清掃
06	AE	女	19	茂原市	千葉県	派遣アルバイト	化粧品の製造・検品・梱包
07	MM	女	19	八千代市	千葉県	ラーメン屋 飲食店	接客
08	AM	女	19	八日市場市	千葉県	コンビニ ジーンズショップ	清掃・接客・レジ
09	TK	女	19	千葉市	千葉県	ショークラブ 塾講師	接客 授業
10	IK	女	19	習志野市	千葉県	焼肉屋	接客
11	ST	男	20	八千代市	茨城県	スポーツクラブ	フロント受付
12	TM	女	20	柏市	千葉県	写真屋	現像・プリント・接客
13	EM	女	20	四街道市	愛知県	飲食店	調理・洗い物・掃除
14	KS	女	20	八千代市	千葉県	ケーキ屋 ドラッグストア	接客・レジ・品出し
15	IR	女	20	四街道市	千葉県	居酒屋 お好み焼き屋	接客 料理の盛り付け
16	TR	男	21	千葉市	神奈川県	派遣アルバイト	引越し 仕分け
17	UK	男	21	千葉市	宮城県	百貨店	接客・品出し
18	AY	男	21	柏市	千葉県	清掃員	清掃
19	KT	男	21	八千代市	千葉県	製造会社	溶接
20	OK	男	21	富津市	神奈川県	コンビニ キャバクラ	接客・品出し キャッチ
21	SA	女	21	松戸市	山形県	パチンコ店	飲料販売
22	KR	女	21	君津市	北海道	信販会社	カードの受付・勧誘
23	IT	女	21	海上郡	千葉県	看護助手	清掃・検查出し
24	KA	女	21	銚子市	千葉県	回転寿司屋	清掃・キッチン・レジ
25	FY	女	21	千葉市	三重県	レンタルビデオ店	レジ・ビデオの陳列
26	OA	女	21	八日市場市	神奈川県	携帯電話販売	新規・継続変更の受付
27	SM	女	21	船橋市	千葉県	リハーサルスタジオ	予約受付・接客
28	YK	女	21	千葉市	千葉県	ショッピングモール	アクセサリーの販売
29	MT	男	22	印西市	千葉県	スポーツ用品店	接客
30	FA	女	22	松戸市	千葉県	スポーツクラブ	トレーニングマシンの説明
31	FY	女	22	八街市	埼玉県	飲食店 薬局	接客 品出し・レジ
32	SY	女	22	船橋市	東京都	本屋	中古の本とCDの販売

千葉県フリーター

労働日数	時給(★日給)	月収(万円)	同居者	最終学歴	結婚願望	調査日	調査員	No.
5-6	-	13-15	父・母・兄・弟	高校卒業	-	03.05.29	石毛 健太	01
5	900	12-14	母・兄・弟	高校卒業	-	03.06.05	江野澤 卓	02
5/4	850-900/900	12-15/6-8	母	高校卒業	-	03.06.08	江野澤 卓	03
4	1,000	10.5	父・母・姉	高校卒業	-	03.07.04	名須川史成	04
5	-	13	母・姉・弟・弟	高校卒業	○	01.09.20	牧野 晋志	05
5	820	13	父・母・兄	高校卒業	○	01.10.07	江川 裕	06
5/3	800	-	父・母・兄	高校卒業	-	02.06.26	但野 卓郎	07
5/5	700-800/750	8-9/7-8	祖父・祖母・父・妹	高校卒業	-	02.11.10	飯島 梨絵	08
4/2-3	2,200/1,200	18/6	祖父・父・母・妹・妹	高校卒業	○	03.05.23	伊橋 裕晃	09
4	850・900	-	父・母・兄	高校卒業	-	03.06.13	新堀 優	10
4-5	850	10	父・母・弟・弟	高校卒業	-	03.05.28	石毛 健太	11
4-5	800	12	父・母・兄	-	○	01.09.04	鳥之海 聡	12
3-5	850	10	父・母・妹・弟	高校卒業	×	02.09.24	三橋 勇介	13
2-3/4	850/750	5-6/8-10	義父・母・妹	高校卒業	-	03.05.26	石毛 健太	14
4-5/4	850・950/800	8-10/-	祖父・祖母・父・母・弟	短大卒業	○	03.06.29	江野澤 卓	15
2-3	★7,000	5	父・母・兄・弟	専門卒業	○	01.12.12	木村 茂隆	16
5	900	16	彼女	高校卒業	-	02.06.20	桐山 敏	17
5	950	15	母・彼女	高校卒業	○	02.11.09	滝口 明生	18
5	800	-	父・母・姉	専門卒業	-	03.05.24	但野 卓郎	19
6/5	1,000/1,500	-	ルームシェアと2人	専門卒業	-	03.06.22	大友 成	20
4-5	1,200+	20	父・母・姉・弟	高校卒業	○	01.09.05	今井 経彦	21
5	1,000	16-17	父・母・姉	高校卒業	○	01.09.25	牧野 晋志	22
5	640	12-13	父・母・妹・妹	高校卒業	○	02.09.20	貴志 真妃	23
5	900	12.6	父・母	高校卒業	○	02.09.22	貴志 真妃	24
4	770	-	父・母	専門卒業	○	02.10.02	千葉 祐幸	25
4-5	830	-	父・母・弟	高校卒業	○	03.04.18	井上 美香	26
6	750	-	父・母・兄	専門中退	-	03.05.12	郡司 直高	27
5	850	14	母・弟	高校卒業	-	03.06.16	桐山 敏	28
5	850	-	祖父・祖母・父・母・妹・弟	高校卒業	-	02.01.21	金田 達司	29
4	850	-	父・母・妹	短大卒業	-	01.12.30	秋本 隼介	30
5/4-5	750	17	父・母・兄	専門中退	○	02.01.18	藤代 真土	31
5	770-970	13	父・母・兄・双子の姉	短大卒業	-	02.09.18	鳥之海 聡	32

No.	名前	性別	年齢	居住地域	出生地	アルバイト(※正社員)	業務内容
33	IC	女	22	千葉市	千葉県	アパレル	接客・販売・レジ
34	NK	女	22	千葉市	ー	楽器店	接客・レジ
35	SA	女	22	千葉市	千葉県	デリバリーヘルス	接客
36	SA	女	22	船橋市	千葉県	スポーツクラブ	水泳指導・事務処理
37	SA	男	23	千葉市	山形県	雑貨店	販売・配送・梱包
38	TG	男	23	千葉市	埼玉県	映像の編集／ビデオの販売	DVDのオーサリング／レジ
39	YH	女	23	千葉市	ー	楽器店 レストラン	ー 調理
40	MA	女	23	千葉市	長崎県	ケーキ屋	販売
41	YT	男	24	柏市	福島県	スポーツクラブ	接客・入退会手続き
42	FK	男	25	千葉市	千葉県	コンビニエンスストア	接客・商品の販売や陳列
43	HK	男	25	浦安市	群馬県	クラブ	接客
44	OY	男	26	千葉市	千葉県	マリンスタジアム	スタジアム内の警備
45	TR	女	27	千葉市	千葉県	ポートタワー	受付係・エレベーターガール
1-b. 現役フリーター：中退→フリーター							
46	NS	男	18	千葉市	東京都	ガソリンスタンド／引越会社	接客・掃除 引越し
47	TK	男	19	大網白里町	神奈川県	ホストクラブ	接客
48	TN	男	19	八千代市	東京都	弁当屋	弁当箱の仕分け・洗浄
49	KT	男	20	松戸市	ー	レンタルビデオ店	ビデオやCDの貸出・販売
50	NM	女	20	千葉市	千葉県	コンビニエンスストア	レジ・品出し・接客
51	SA	男	21	銚子市	千葉県	運送業	配達・集荷
52	KT	男	21	八千代市	千葉県	コンビニエンスストア	品出し・検品・レジ・接客
53	SK	男	21	八千代市	千葉県	オペレーター	電話での対応
54	KK	女	21	千葉市	千葉県	イベント会社	営業
55	MS	女	23	千葉市	千葉県	居酒屋	レジ・掃除
56	IM	女	24	鎌ヶ谷市	千葉県	コンビニエンスストア	レジ・品出し・検品
57	YT	男	28	千葉市	千葉県	パチンコ店	パチンコ店の一般業務
1-c. 現役フリーター：正社員→フリーター							
58	MK	女	18	柏市	千葉県	テーマパーク企業	チケット販売
59	AK	女	20	千葉市	千葉県	登録制のアルバイト	チラシやちり紙の配布
60	KA	女	22	印旛村	千葉県	ガソリンスタンド	精算・掃除
61	KA	女	22	船橋市	千葉県	事務	事務処理
62	KH	男	23	千歳町	千葉県	パーキング	車の管理
63	HR	女	23	旭市	千葉県	スナック コンビニ	つまみや料理を運ぶ レジ

千葉県のフリーター

労働日数	時給(★日給)	月収(万円)	同居者	最終学歴	結婚願望	調査日	調査員	No.
5	800	－	父・母・弟・妹	短大卒業	－	02.09.26	千葉 祐幸	33
5	－	12	祖父・祖母・父・母	専門卒業	○	02.12.06	青木 和宏	34
6	－	60	なし	高校卒業	○	03.02.07	青木 和宏	35
5	760+	－	父・母・姉	専門卒業	○	03.06.20	鎌田 雅美	36
6	800	17	父・母・妹	高校卒業	×	02.10.02	樋尾 雄一	37
5/3	－	15/4	ルームメイト2人	大学卒業	－	03.01.11	秋元 唯	38
5/2-3	740/1,013	11	父・母・姉	専門卒業	－	01.12.17	秋元 唯	39
－	1,000	－	友人	高校卒業	○	03.01.12	秋元 唯	40
4-5	870	10	なし	大学卒業	－	01.11.23	秋本 隼介	41
7	750	11-12	父・母	大学卒業	－	01.08.10	江川 裕	42
5	－	20	なし	大学卒業	－	01.12.01	金沢 祐介	43
4	1,000	－	父・母・妹	専門卒業	－	02.05.13	上田 有紀	44
3	900・1,000	－	父・母・妹	高校卒業	○	03.04.18	上田 有紀	45
4/1	1,100/850	16/3	祖母・父・母・兄・妹	高校中退	－	01.12.19	石原 達也	46
4-5	1,300	30-40	父・母・姉・妹	高校中退	－	02.08.23	江野澤 卓	47
5	850	11-13	父・母・兄・弟	高校中退	－	03.05.23	石毛 健太	48
3	800	－	なし	大学中退	－	03.01.20	青木 和宏	49
5	790	8	父・母・兄・妹・妹・弟・弟	高校中退	－	03.07.06	石田 愛	50
5	－	18	父・母	専門中退	－	02.01.06	藤代 真土	51
4-6	850/1,050	15	祖母・父・母・兄	大学中退	－	02.10.26	郡司 直高	52
4-5	950+	24-25	兄	専門中退	×	02.12.21	海保 直也	53
5	1,000	17	父・母・妹	大学中退	○	02.01.26	金沢 祐介	54
5	900	15	彼氏	専門中退	○	03.06.01	加瀬公美子	55
5	700	－	父・母・弟・弟	専門中退	○	01.06.26	水寫 恭平	56
6	1,000・1,200	23	なし	大学中退	－	02.10.28	名須川史成	57
5	900	14	父・母・姉	高校卒業	○	01.08.26	鳥之海 聰	58
－	★7,000-8,000	－	兄	高校中退	○	02.09.20	井上 美香	59
5	900	17	祖父・祖母・父・母・弟	短大卒業	○	01.11.25	白井 智史	60
3	1,000	4.8	父	専門卒業	×	01.06.28	水寫 恭平	61
6	1,000	25-35	なし	高校卒業	－	03.02.27	飯島 梨絵	62
6/4	1,900/720	30/2.8	父・母・兄・義姉・甥	高校卒業	－	02.08.21	加瀬公美子	63

No.	名前	性別	年齢	居住地域	出生地	アルバイト(※正社員)	業務内容
64	IT	女	23	千葉市	東京都	パチンコ店	パチンコ店の一般業務
65	YS	男	24	柏市	千葉県	ガソリンスタンド	レジ・接客・店内外清掃
66	HK	男	24	千葉市	東京都	居酒屋	調理・片付け・掃除・仕込み
67	IS	男	25	千葉市	富山県	マリスタジアム	スタジアム内の警備
68	UT	男	28	袖ヶ浦市	大阪府	パチンコ店	パチンコ店の一般業務
69	KY	女	28	習志野市	兵庫県	総合広告代理店	チラシなどの製作
70	HE	女	29	柏市	熊本県	コンビニ インストラクター	販売全般 -
71	ST	男	30	千葉市	秋田県	工場	製造や検査
2-a. 非フリーター：正社員							
72	AM	女	19	千葉市	東京都	食品販売	接客・販売・陳列
73	TK	女	20	成田市	千葉県	※事務	電話での対応・ファイリング
74	MR	女	20	千葉市	鹿児島県	※食品販売	洋菓子の製造と販売
75	MY	男	21	八千代市	熊本県	※血液検査会社	病院から血液を会社に運送
76	HK	男	21	千葉市	静岡県	※引越会社	引越し
77	IT	女	21	松戸市	東京都	ガソリンスタンド 居酒屋	給油・洗車 接客・掃除
78	KA	男	22	佐倉市	千葉県	※瓦屋	屋根瓦の張替え
79	YT	男	25	千葉市	千葉県	ファミリーレストラン	調理
2-b. 非フリーター：契約・派遣社員							
80	AM	男	21	小見川町	千葉県	配送センター(派遣社員)	食料品の入出庫作業
81	IS	女	21	船橋市	千葉県	ケーキ屋(契約社員)	開店準備・接客・販売
82	YY	女	21	富津市	岩手県	お菓子屋(契約社員)／飲食店	接客・販売・閉店作業／調理
83	KK	男	23	八千代市	埼玉県	webデザイン(派遣社員)	ホームページ作成・ネット販売
2-c. 非フリーター：既婚女性							
84	SK	女	19	飯岡町	-	-	-
85	IE	女	22	成田市	-	コンビニエンスストア	接客
2-d. 非フリーター：専門学校生							
86	TH	男	22	千葉市	東京都	宅配ピザ店	配達・箱作り
87	MA	男	27	千葉市	-	スポーツ用品店	接客・販売
3-a. 無職：正社員志望							
88	UM	女	20	船橋市	千葉県	-	-
89	AG	男	21	市川市	千葉県	-	-
90	KK	男	21	佐倉市	千葉県	-	-

千葉県のフリーター

労働日数	時給(★日給)	月収(万円)	同居者	最終学歴	結婚願望	調査日	調査員	No.
5-6	1,150	17-20	彼氏	高校卒業	○	03.05.25	海保 直也	64
4-5	1,200	15	父・母・姉	専門中退	-	02.10.15	澁谷 優佑	65
5	910	18	彼女	高校卒業	-	03.06.01	加瀬 公美子	66
-	★13,000	-	なし	大学卒業	○	03.04.20	上田 有紀	67
5	1,500	17-19	父・母・兄	大学卒業	-	02.08.06	大友 成	68
-	-	20	留学時の同級生	大学卒業	○	02.01.12	青 山	69
3-4/-	850・1,100/-	-	彼氏	短大卒業	-	01.10.26	岩波 憲和	70
5	-	20	父・兄	高校卒業	-	03.01.10	秋元 唯	71
5-6	780	12-13	祖母・父・母・兄・弟	高校卒業	-	01.12.15	江川 裕	72
5	-	17	父・母・弟・弟	高校卒業	○	01.07.07	澁谷 優佑	73
6	-	16	弟	短大卒業	-	02.10.03	鎌田 雅美	74
5	800・1,000	22	父・母・妹	大学中退	-	02.10.03	但野 卓郎	75
6-7	-	25-30	祖母	大学中退	-	02.11.03	新堀 優	76
3-5/5-6	900/960-1,440	8-10/10	なし	大学卒業	-	02.06.21	今井 経彦	77
-	★10,000	20-25	父・母・妹	専門中退	○	03.05.20	大平 義紀	78
4-5	1,000	-	父・母・妹	大学卒業	-	03.06.15	樋尾 雄一	79
5	1,500	20	父・母・兄・兄	専門中退	-	02.11.03	伊橋 裕晃	80
5	950	13-14	父・母・妹	高校卒業	○	03.05.31	滝口 明生	81
5/4	750・1,050/920	-	父・母・姉・姉	高校卒業	-	03.06.19	大友 成	82
6	-	18	父・母・弟	大学卒業	○	02.10.11	石田 愛	83
-	-	-	夫・娘	中学卒業	-	02.11.04	永野 勝俊	84
6	700	-	父・母・姉・弟	高校卒業	○	01.08.01	石井 一明	85
3	910	6	父・母・兄	専門在学	-	02.10.11	君和田佑子	86
5	-	15	なし	専門在学	-	02.07.22	青木 和宏	87
-	-	-	父・母	専門卒業	-	02.06.25	滝口 明生	88
-	-	-	父・母・弟	専門中退	-	01.12.02	松沢 修一	89
-	-	-	母・弟	高校中退	○	02.10.14	大平 義紀	90

No.	名前	性別	年齢	居住地域	出生地	アルバイト(※正社員)	業務内容
3-b. 無職：アルバイト志望他							
91	YA	男	21	市原市	千葉県	－	－
92	SH	男	21	八千代市	東京都	－	－
93	NS	女	23	柏市	千葉県	－	－
4-a. 非該当：千葉県外在住							
94	TK	男	21	江戸川区	千葉県	－	－
95	HM	男	21	江戸川区	東京都	ガソリンスタンド	接客・掃除
96	AT	男	22	大田区	東京都	※パン屋	パン焼きと製造
97	YN	男	22	品川区	東京都	焼肉屋	仕込み・接客
98	TR	女	21	神栖町	東京都	コンビニエンスストア	－
4-b. 非該当：フリーター歴なし							
99	IJ	男	20	千葉市	東京都	－	－

注1：「年齢」は、調査日時点での年齢のため、実年齢とは誤差がある。

注2：「居住地域」は、市町村別、「出生地」は都道府県別表記である。

注3：「結婚願望」は、「○」が結婚願望有り、「×」が結婚願望なし、「－」が不明。

注4：No.79は、現在プロボクサーのため、「2-a. 正社員」に分類した。

千葉県のフリーター

労働日数	時給(★日給)	月収(万円)	同居者	最終学歴	結婚願望	調査日	調査員	No.
—	—	—	父・母・妹	高校卒業	—	03.06.07	永野 勝俊	91
—	—	—	父・母・妹・妹	専門卒業	—	03.07.08	但野 卓郎	92
—	—	—	父・母・兄	高校卒業	○	02.05.12	鳥之海 聡	93
—	—	—	父・母・弟・弟	高校卒業	○	02.12.01	江口 真司	94
4	1,150	15	父・母	高校卒業	○	02.12.01	江口 真司	95
—	—	20	祖母・父・母・妹・弟	高校卒業	—	02.10.01	高橋 秀行	96
5	980	15	父・母・弟	高校卒業	—	03.05.20	高橋 秀行	97
4	900	—	母・弟	専門卒業	—	03.06.23	君和田佑子	98
—	—	—	父・母・妹・弟	高校卒業	—	01.9.20	木村 茂隆	99